

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム中央
日付	平成18年1月17日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 介護支援専門員歴5年
<a href="#">自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)</a> まだリンク先はありません。	
<a href="#">評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)</a>	
<a href="#">事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)</a>	

外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の環境に恵まれた場所に位置しています。法人敷地内でも、季節に応じてお花見をしたり、紅葉狩りをしたりすることができます。近くの観音様へのお参りを兼ねた散歩など、気軽な外出の機会が日常的に作られています。</li> <li>・建物内は共用の空間が広く、自然の明かりが入るよう工夫されており、開放感があります。また、各居室の床や調度品が木目調になっており、家庭的な雰囲気があります。</li> <li>・個別記録、ケース会議の重要性が認識され、どの記録も丁寧に記載されています。</li> <li>・管理者は栄養士の資格を有しています。入居者の希望を採り入れながら、日々の献立をしており、栄養に配慮したバラエティに富んだ食事を提供しています。</li> <li>・併設施設の利点を活かし、緊急時の応援など、連携が図られています。</li> <li>・管理者や職員にはサービスの質を向上させたいという熱意が感じられました。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレが2ヶ所設けられていますが、ホールに面しており、その内1ヶ所は入り口がカーテンのみです。プライバシーへの配慮から、観葉植物やつい立を置くなど、目隠しの工夫をされてはいかがでしょうか。</li> <li>・法人内で定期的な人事異動をしていますが、入居者にとってなじみの関係を作るといいうグループホームの特性に配慮した内容となるよう、法人代表者と管理者が十分な意見交換をされることを期待します。</li> </ul>

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な環境の下で、入居者一人ひとりの能力に応じた生活ができるように支援しています。</li> <li>・入居者と家族の掛け橋になれることをめざしています。定期的に家族と連絡をとり、面会機会の少ない家族にも情報の提供を行っています。</li> <li>・入居者が問題行動をおこしてもそれを受け入れ、危険のないように見守っています。</li> </ul>			

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何でここにいるの」、「いつまでここにいるの」など繰り返し聞いてくる入居者に対しては、全職員が同じ受け答えをするように心がけ、混乱が起きないように配慮しています。</li> <li>・入居者の行動を制限せず、自由に過ごしてもらい、職員は、危険のないよう、また他者の迷惑にならないように見守っています。</li> <li>・徘徊のある方には、一緒に外を歩いたり、歌をうたうなど好きなことを一緒にして過ごすようにしています。</li> </ul>			

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切に整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりができそうなことを見つけ、生活の中で継続できるように支援しています。部屋に閉じこもりがちだった人に、花壇の手入れや花の水を変えてもらうようにしたら、それが改善され、現在では他の入居者との交流もできるようになっています。</li> <li>・衣類の着脱の際には、かならず居室の戸は閉めるようにし、プライバシーの保護に配慮しています。お風呂も一人ずつゆっくりと入ってもらっています。</li> <li>・居室に入室する際には、必ずノックと声かけをするよう心がけています。夜間の見回りについても、事前に時間を説明し、理解を得ています。</li> <li>・面会簿を廃止し、カード形式にして、他者の目に触れないような配慮をしています。</li> </ul>			

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、「入居者にとっては家族が一番です。心を込めて介護しても、家族にはかないません。私たち職員は、入居者と家族が職員を介して信頼関係を築けたらいいと考えています」と熱意を持って話されました。アットホームなグループホームが築けるよう、努力されています。</li> <li>・事故が発生したときには、職員間で原因や対策を話し合い、再発防止に向けて努力しています。ヒヤリハット報告書があり、事故の予防に向けて取り組んでいます。</li> </ul>			